

各位

会社名 タマホーム株式会社
住所 東京都港区高輪三丁目22番9号
代表者名 代表取締役社長 玉木 伸弥
(コード番号: 1419)
問合わせ先 取締役戦略本部長兼経理部長 西堀 祐介
TEL. 03-6408-1200

シンジケートローン契約締結に関するお知らせ

当社は、2026年8月10日開催の取締役会において、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. シンジケートローン契約締結の目的

当社グループは、2027年5月期よりスタートした中期経営計画「タマステップ 2031」の下、効率的な生産体制づくりと稼ぐ力の向上により、事業体質の強化に取り組んでおります。

本契約は、中期経営計画「タマステップ 2031」に掲げた成長戦略の実現に向け、当社の成長に必要な事業資金を安定的に確保するとともに、財務基盤のより一層の強化を図ることを目的としております。

また、本契約を通じてシンジケーションを組成することにより、取引金融機関との連携を一層強化し、当社の持続的な成長を支える安定した金融支援体制を構築してまいります。

今後も取引金融機関との緊密な連携のもと、持続的な成長及び企業価値の向上に努めてまいります。

2. シンジケートローン契約の概要

(1) 形態	シンジケーション方式によるタームローン契約
(2) 契約金額	12,000 百万円
(3) 契約締結日	2026年8月21日(予定)
(4) 借入日	2026年8月28日(予定)
(5) 弁済期限	2029年8月28日
(6) 適用利率	基準金利＋スプレッド
(7) 資金使途	事業資金
(8) 担保・保証	無担保・無保証
(9) アレンジャー	株式会社三井住友銀行
(10) 参加金融機関	株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社千葉銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社七十七銀行、株式会社福井銀行、株式会社りそな銀行、株式会社北洋銀行、岐阜県信用農業協同組合連合会、株式会社百五銀行、株式会社伊予銀行、株式会社筑邦銀行、

	株式会社宮崎銀行、株式会社八十二長野銀行、株式会社足利銀行、株式会社富山銀行、株式会社関西みらい銀行
(11) 財 務 制 限 条 項	(2027 年 5 月期末およびそれ以降の各事業年度末日において適用) ①連結損益計算書に記載される営業損益を損失としないこと。 ②連結貸借対照表に記載される純資産の合計金額を、2026 年 5 月期末または直近事業年度末のいずれか高い方の 80%以上に維持すること。 ③連結貸借対照表に記載される有利子負債(※)の合計金額を、特定の流動資産等の合計金額(「現金及び預金」「受取手形」「完成工事未収入金」「売掛金」「未成工事支出金」「販売用不動産」「仕掛販売用不動産」の合計金額)から特定の流動負債の合計金額(「支払手形・工事未払金等」「未成工事受入金等」の合計金額)を控除した金額以内に維持すること。 ④連結貸借対照表に記載される有利子負債(※)の合計金額を、販売用不動産及び仕掛販売用不動産の合計金額以内に維持すること。 ⑤連結貸借対照表に記載される数値により計算されるデットキャパシティレシオ(有利子負債÷(現預金+有価証券+投資有価証券+有形固定資産))を 1.5 以下に維持すること。 ⑥連結貸借対照表及び連結損益計算書における在庫回転期間(販売用不動産+仕掛販売用不動産)÷(不動産事業に係る売上高÷12 か月))を 12 か月以内とすること。 ※「有利子負債」とは、短期借入金、1 年内返済予定の長期借入金、1 年内償還予定の社債、長期借入金、社債(割引債及び新株予約権付社債を含む。)、受取手形割引高、コマーシャルペーパー等をいいます。

3. 業績への影響について

本件が 2027 年 5 月期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上